

都市と環境(Ⅰ) レポート課題

科目とりまとめ教員: 古米弘明

1. 課題内容

以下の8つの課題からA群とB群からそれぞれ1つを選択し、レポートにまとめる。引用元や情報源は必ず明記すること。web ページとして公開されているものを引用する際は、その URL も必ず記すこと。

<A群課題>

都市環境の現状と改善 滝沢智 教授

環境未来都市に選定された全国の11都市の中から、福岡県北九州市を除く1都市を選んで、環境と社会、経済についてどのような目標を掲げているかを記述し、それを達成するための方法と課題について説明しなさい。

地球環境問題の中の都市 福士謙介 教授

アジアの都市のひとつを選択し、その都市が気候変動によって受ける影響を調べ、その対策を提案せよ。影響するセクターは2つ以上とすること。

都市とサステナビリティ 福士謙介 教授

日本の地方都市がある程度の人口規模を保つために1次産業を活用したい。2030頃をターゲットとした場合、どのような道筋を考えれば良いか論ぜよ。具体的な都市または地域(人口 0.5~5 万人程度)を選定すること。1次産業にはいわゆる6次産業的なものも含めることとする。

都市活動の環境負荷評価 中谷隼 講師

LCAを用いて都市活動(住宅、交通、水利用、廃棄物処理など)の環境負荷を評価した事例を一つ、学術誌(※)などから探し、内容を簡単に整理した上で、その評価結果が実社会における意思決定に活用されるための課題について考察せよ。

※ 土木学会論文集 G(環境), 環境科学会誌, 日本 LCA 学会誌(いずれも J-Stage から無料で閲覧できる)

<B群課題>

健全な水環境 春日郁朗 准教授

自分の身近な都市・まちにおける水環境の現状と課題を、データ等に基づいて分析しなさい。次に、その課題を解決し、より健全な水環境を創出するための方策を一つ提案しなさい。

雨水管理とまちづくり 古米弘明 教授

都市における雨水をどのように捉え、その管理(流出抑制や浸水対策など)や利用を、今後のまちづくりや新たな都市開発にどのように反映するべきかを述べなさい。なお、国土交通省下水道部、水資源部などの報告書などを適宜参考にすることを推奨する。

浄水処理概論 小熊久美子 准教授

都市の発展期・成熟期・縮退期に応じて浄水処理技術(水のつくりかた)と水供給システム(水のくばりかた)がどのように変遷しうるか、実在の都市を例として論じなさい。

下水道概論 佐藤弘泰 准教授

下水道に流入する資源の有効活用について、事例を調べて報告しなさい。また、同様の事業をあなたの身の回り(今住んでいる都市、または出身地等)で実施できないか、考察しなさい。

2. 形式(分量等)

Microsoft Word で A4、図表などを含めて 2-3 枚前後とする。

3. 提出先・提出方法

選んだ課題の担当教員宛に、電子メールにて提出すること。なお、メールのタイトル(表題、subject)は、「都市と環境 1 レポート課題」とし、ファイル名は、「学生証番号+氏名+都市と環境 1 レポート」とする(例:「371XXXX_東大都市子_都市と環境 1 レポート」)。

<A群課題>

- 1) 滝沢(takizawa@env.t.u-tokyo.ac.jp)
- 2) 福士(fukushi@ir3s.u-tokyo.ac.jp)
- 3) 福士(fukushi@ir3s.u-tokyo.ac.jp)
- 4) 中谷(nakatani@env.t.u-tokyo.ac.jp)

<B群課題>

- 5) 春日(kasuga@env.t.u-tokyo.ac.jp)
- 6) 古米(furumai@env.t.u-tokyo.ac.jp)
- 7) 小熊(oguma@env.t.u-tokyo.ac.jp)
- 8) 佐藤(hiroyasu@k.u-tokyo.ac.jp)

4. 提出締切

〆切: 2018 年 1 月 9 日(月)24 時。受取り確認のメールを返信するので、締め切り後4日以内に返信がない場合には連絡して下さい。

以上